

連合奈良南和地域協議会 〒634-0061 橿原市大久保町 457-1 大松ビル 504 TEL0744-47-3905 FAX0744-47-2305

8月の「連合奈良の日」街宣

『核兵器廃絶と恒久平和
の実現』と『同一労働同一
賃金』の点検を！訴える

連合奈良は一日も早い核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現をめざし、今後も沖縄、広島、長崎、根室へ代表を送り平和行動に取り組んでいます。

また、戦後・被爆から81年を経て戦争の記憶が風化されつつある中、あらためて平和の尊さ、戦争の悲惨さ、そして核兵器廃絶を強く訴え、平和運動を強化していくと街頭で訴えました。

連合奈良推薦の森山県議、南浦宇陀市議、森永大淀町議からも連帯の挨拶を受け、最後に連合南和地協北川議長が連合の取組みにご理解とご協力をお願いしますと訴え街宣行動を終えました。

8月5日(水)近鉄八木駅改札口前で、8月の「連合奈良の日」街宣行動を地協役員や組合員、推薦議員、LSC南和の相談員と一緒に19人で行いました。街宣では、連合は1989年の結成以来『平和なくして、労働運動なし』の信念のもと取り組みを進めてきたこと訴え、「核兵器廃絶と恒久平和の実現」と、「今こそ同一労働同一賃金の再点検を！」のビラとティッシュ約900枚を配布しました。



2026夏のファミリーイベント 片男波地曳網体験ツアー 7産別 68名が地曳網に挑戦！

落ち着き予定通り無事すべての活動を行うことができました。大きな網を大人数でいっきに引き上げる地曳網は豪快でとびっきりの夏の思い出作りになりました。沖合の漁船から左右に分かれ砂浜にロープを運び、そのロープを参加者全員で引き、網を海岸まで引き寄せるという作業でした。30分くらいの網引きを行い、引き寄せられた網の底には、あじ、つばす（はまちの幼魚）、タコなど多くの魚が入っており、子どもたちは浜に寄せた網に魚がかかっているのを見ると、興奮し網を引くのを忘れ、網にかかっている魚を手で掴かもうとしたり、その様子を親が記念撮影したりと大騒ぎでした。

その後、食事会のBBQでは、漁師さんが網でとった魚を焼いたり、さばいて刺身でいただいたり、他にウインナーや肉、ホルモンなども焼いていただき堪能しました。食後は、砂浜で海水浴を思う存分楽しみました。参加者からは『楽しかった』『また地曳網にきたい』と大好評でした。

8月8日に恒例の『夏のファミリーイベント』を、和歌山市和歌の浦片男波海岸で地曳網体験を行い7組合から68人が参加しました。

今年は前日まで台風の影響で波が高く地曳網や海水浴ができるか心配しましたが、当日は波も

